2026年度

カリキュラムマップ　健康科学部　理学療法学科

健康科学部理学療法学科　ディプロマポリシー

【理学療法学科　知識・技能】①理学療法に必要な保健・医療・福祉の基本的な知識を身につけて、国家試験に合格できる水準に達する。

【理学療法学科　知識・技能、主体性・多様性尊重・協働性】②基本的な知識及び技能を発揮する能力を備え、安全に理学療法を実践することができる。

【理学療法学科　思考力・判断力・表現力等能力、主体性・多様性尊重・協働性】③科学的探究心・向学心・批判的思考と研究的態度を身につけ、生涯学習を継続することができる。

【理学療法学科　思考力・判断力・表現力等能力】④獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題を解決することができる。

【理学療法学科　思考力・判断力・表現力等能力、主体性・多様性尊重・協働性】⑤コミュニケーション能力を身に付け、チームの中で協働することができる。

【理学療法学科　知識・技能、主体性・多様性尊重・協働性】⑥感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することができる。

【理学療法学科　主体性・多様性尊重・協働性】⑦多様な価値観や文化への理解を深め、倫理的思考に基づいた判断力と国際的視野を持つことができる。

【理学療法学科　思考力・判断力・表現力等能力、主体性・多様性尊重、協働性】⑧変化していく社会において理学療法士の役割を認識し、マネージメント能力及びリーダーシップを持ち、自ら研鑽を積むことで地域社会の発展に貢献することができる。

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
0005206	50S01-1021FE-04	芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造）〔理〕	選択	1. チョークアートの概要を理解する。 2. 色彩が持つ特徴や感情に与える影響を理解しできる。 3. チョークアートの技法を理解し、説明できる。 4. チョークアートの技法を用いてテーマに沿った作品を作製できる。 5. ボディペイントの概要を理解することにより、医療の現場におけるコミニュケーションに生かすことができる。 6. 自分の思いを表現し作品を通して伝え、他の作品の作者の思いを理解し共感できる。						◎		
0005301	50S01-1022FE-00	芸術表現Ⅱ（書の感性と創造）〔理〕	選択	①書体の特徴を理解することができる。 ②楷書の基本点画をしっかり書くことができる。 ③行書の筆使いができる。 ④草書の字形を理解して書くことができる。 ⑤隷書の字形・波法を理解して書くことができる。 ⑥篆書の字形・線質を理解して書くことができる。 ⑦体裁よく硬筆で書くことができる。 ⑧実用的な文字を正しく書くことができる。 ⑨小筆の使い方を理解ことができる。 ⑩伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。			○	○	○	◎	◎	○
2000302	51L07-1001SO-00	教育心理学〔理〕	選択	・教育や指導の場面で対象者を理解するために教育心理学の視点を応用する。 ・各回の内容から発達、集団、評価、学習など心理学の基礎的について理解を深め、個人の困難に対する支援策を具体的に述べる。 ・教育心理学に関連する代表的理論と人名ならびに用語の概要について説明する。 ・教師または指導者の立場から学修内容を応用し、支援策を具体的に述べる。				◎		◎		
2004002	50L01-2042FE-00	教育方法論［理］	自由	①アクティブラーニングやPBL（問題解決型学習）の模擬実践を通して、獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題を解決することができる。 ②アクティブラーニングやTBL（チーム基盤型学習）の模擬実践を通して、ミュニケーション能力を身に付け、チームの中で協働することができる。			○	◎	◎			○
2005303	51L07-1002SO-00	教育原論〔理〕	選択	1. 教育学の原理的な事項を説明できる。 2. 現実の教育問題を多様な視点から考察できる。 3. 自分なりの教育のあり方を理論的に表現できる。			◎	◎		◎		
5100101	51L02-1003FE-00	生化学（栄養学を含む）［理］	選択	①　生命現象の基本である生体構成成分とその連続した化学反応：代謝について学び、理解する. ②　体内の物質循環と臓器組織により異なる代謝の役割分担について知る. ③　代謝の起点となる摂取栄養物質について知る. ④　栄養と生体構成成分の関係について知る. ⑤　恒常性とその維持の仕組みについて知る.	○	○	◎	○				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5100202	51L02-3004SE-00	人間発達学[理]	必修	1. 発達の基本原理（連続性、方向性、順序性、周期性、個別性）を列挙し、説明できる。 2. 胎生期から新生児期における生理的特徴と、環境が発達に与える影響を説明できる。 3. 乳幼児期の粗大運動（首の据わり～独歩）、日常生活活動能力の発達段階を、月齢とともに理解できる。 4. 微細運動（手指の把握機能）の発達過程を説明できる。 5. 主要な原始反射（モロー反射、ATNR、STNRなど）の出現・消失（統合）時期と、その臨床的意義を説明できる。 6. 姿勢反射・反応の出現・一部消失（統合）時期とその臨床的意義を説明できる。 7. ピアジェの認知発達理論やエリクソンの心理社会的発達理論など精神・心理的発達過程理論を説明できる。 8. 加齢に伴う身体的・心理的変化（老化）を理解し、老年期の特徴を説明できる。	◎	○	○	○	○	○	○	○
5100301	51L02-1005FR-00	解剖学Ⅰ[理]	必修	1. 身体の区分や面・方向を示す用語を理解し、用いることができるようになる。 2. 骨格を形成する骨や関節、靭帯について理解する。 3. 骨格筋の起始・停止・神経支配を理解し、作用を説明できるようになる。 4. 循環器系における構造物を理解し、小循環・大循環を説明できるようになる。	◎		○					
5100401	51L02-1006SR-00	解剖学Ⅱ[理]	必修	1. 脳と脊髄および脳神経と脊髄神経の概略を理解し、説明できるようになる。 2. 気道のルートおよび肺の構造を理解し、説明できるようになる。 3. 消化管および付属器官の構造の概略を理解し、説明できるようになる。 4. 尿の生成および排尿のルートを理解し、説明できるようになる。 5. 男性・女性の生殖器の解剖学的特徴を理解し説明できるようになる。 6. ホルモンの産生部位とその作用を理解し、説明できるようになる。 7. 眼と耳の構造を理解し、説明できるようになる。	◎	◎	◎	◎				
5100501	51P02-2007YR-00	解剖学実習[理]	必修	1. 骨格標本の触察を通じ、骨と関節の構造を理解して説明できるようになる。 2. 骨格筋の触察を通じ、筋の起始・停止ならびに神経支配・作用を理解して説明できるようになる。 3. 上記を踏まえ、各主要器官の位置関係を理解して説明できるようになる。					◎	◎		
5100601	51L02-1008FR-00	生理学Ⅰ[理]	必修	1）細胞・体液レベルから恒常性維持機構を説明できる。 2）神経系および内分泌系による調節機構を統合的に理解できる。 3）感覚入力から中枢統合に至る情報処理過程を説明できる。 4）中枢神経系の構造および高次機能を体系的に理解できる。 5）神経活動が筋収縮および筋の可塑的変化へ至る機構を説明できる。	◎	◎	○	○				
5100701	51L02-1009SR-00	生理学Ⅱ[理]	必修	1）生体の生命維持に必要な循環のしくみを説明できる。 2）生体の生命維持に必要なガス交換のしくみを説明できる。 3）生体の生命維持に必要な栄養素の摂取とさまざまな代謝産物の排出のしくみを説明できる。 4）調節系の一つとして内分泌のしくみを説明できる。 5）種の保存のしくみを説明できる。	◎	○	○	○				
5100801	51P02-2010FE-00	生理学実習[理]	必修	1）心電計の操作により心電図を測定し、心筋の電気活動を説明することができる。 2）外的刺激による血圧変動から循環調節を説明することができる。 3）スパイロメータの操作により肺気量を測定し、呼吸調節の仕組みを説明することができる。 4）ブドウ糖負荷による血糖値の変動から、ホルモンによる血糖調節の仕組みを説明できる。 5）感覚から大脳皮質の機能局在を説明することができる。 6）腎臓による体液の量とpHの調節の仕組みを説明することができる。	◎	◎	◎	○				
5101401	51L02-2011SR-00	病理学	必修	人体における恒常性の破綻を、病因別に分類された基本型について学び、その知識をもとに、臓器系統ごとに重要な症状や徴候が生じる機能障害の機序を理解し、説明できる。	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
5101501	51L02-3012SE-00	病態生理学[理]	選択	1）その症状の定義、起こるメカニズム、その症状をきたす疾患について述べることができる。 2）その症状を緩和するためのアプローチを、特に理学療法学的な視点で考えることができる。	◎	◎	◎	○				
5101801	51L02-2013SR-00	整形外科学Ⅰ[理]	必修	1) 整形外科基礎科学について理解する. 2) 運動器疾患の概要・疫学・病態について理解する. 3) 運動器疾患の診察法・診断法を理解する. 4) 運動器疾患の治療法・後療法を理解する.	◎	◎						
5101901	51L02-3014FE-00	整形外科学Ⅱ[理]	選択	1) 整形外科基礎科学について理解する. 2) 運動器疾患の概要・疫学・病態について理解する. 3) 運動器疾患の診察法・診断法を理解する. 4) 運動器疾患の治療法・後療法を理解する.	◎	◎						

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5102301	51L02-2015SR-00	老年医学〔理〕	必修	高齢者の総合機能評価ができるようになる。 老化のメカニズムと予防、リハビリテーションを学ぶ。 高齢者が病気になった際に、どのような転機をたどるかの把握、どのような社会サービスが利用できるのかの理解。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5102601	51S02-1016SR-00	救急法[理]	必修	①国内・外の救急医療制度の仕組みと一般市民の役割が理解出来る。また、事故現場での安全確認及び傷病者の評価・観察、医療情報の取り方の基本が理解できるようになる。 ②一次救命処置の概要がわかり、最新のガイドラインに基づく心肺蘇生の手順と根拠が理解できる。 ③一次救命処置の手順を理解し、感染防御を踏まえた心肺蘇生、AEDによる除細動が行えるようになる。 ④実技評価基準に基づき、自分の一次救命処置の手順とスキルが確認が出来、修正出来る。 ⑤出血の危険性、ショックの原因と症状の評価及び損傷血管に応じた出血コントロールが出来るようになる。 ⑥外傷に伴う感染防御などの安全対策、ドレッシングと三角巾による外傷の応急手当が行えるようになる。 ⑦ドレッシングと三角巾による応急手当の続きと巻軸包帯による包帯法が行えるようになる。 ⑧目的に応じた三角巾と巻軸包帯法の続き、及び圧迫包帯による包帯法が行えるようになる。 ⑨熱傷、暑熱寒冷障害、危険な動物、植物による事故など特殊なけがの予防と応急手当が理解できるようになる。 ⑩骨、関節、筋肉損傷の原因が理解出来、その評価と捻挫等の応急手当が行えるようになる。 ⑪各損傷部位の評価と四肢の副子固定が行えるようになる。 ⑫高エネルギー事故での防ぎえた外傷死の概念が理解出来、安全確保の方法、外傷患者の救命処置の手順が理解出来る。 ⑬高エネルギー事故での外傷患者救命処置、体位変換等の基本スキルが行えるようになる。 ⑭救護者に安全なリフティングと傷病者の状態に則した移動、搬送が行えるようになる。 ⑮災害時の心得と避難、救護活動の基本が理解できる。重要ポイントの振り返りが確認出来る。	○	○	◎	○	○	○	○	○
5102702	51L02-3017SR-00	ケアマネジメント論〔理〕	必修	1. ケアマネジメントに関する制度と基本理念 ・ 介護保険法の目的と制度、「自立支援」の理念について説明できる。 ・ 理学療法士として、ケアマネジメントの必要性について述べることができる。 2. ケアマネジメントの実践 ・ ケアプランの構成要素を理解し、適切な目標設定（短期・長期）ができる。 ・ アセスメントの手法（課題分析）を理解し、利用者のニーズを抽出できる。 3. リハビリテーション職としての視点 ・ ICF（国際生活機能分類）に基づき、心身機能だけでなく「活動」や「参加」に着目したマネジメント案を立案できる。 ・ 福祉用具の選定や住宅改修の提案が、ケアプランにどう反映されるべきか提案できる。	○	○	○	○	◎	○	○	◎
5102901	51L02-3018SR-00	画像診断学	必修	（1）理学療法士の診療対象となる骨関節疾患、脳血管疾患を重点的に扱う （2）各疾患の画像所見のみならず、その背景にある病態も理解できるようになる。 （3）画像解剖、画像検査法など、画像診断の基礎となる知識が得られ説明できるようになる。	◎	◎						
5103001	51L02-2019FR-00	内科学Ⅰ[理]	必修	・医学の発展と問題点を理解できている。 ・診療の一連の流れを理解できている。 ・診察方法の概論を理解できている。 ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。 ・アレルギーの基礎知識と主要なアレルギー疾患が理解できている。 ・膠原病の基礎知識と主要な膠原病疾患が理解できている。 ・内分泌の基礎知識と主要な内分泌疾患が理解できている。 ・代謝の基礎知識と主要な代謝性疾患が理解できている。 ・循環器の基礎知識と主要な循環器疾患が理解できている。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5103101	51L02-2020SR-00	内科学Ⅱ[理]	必修	・医学の発展と問題点を理解できている。 ・診療の一連の流れを理解できている。 ・診察方法の概論を理解できている。 ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。 ・呼吸器の基礎知識と主要な呼吸器疾患が理解できている。 ・消化器の基礎知識と主要な消化器疾患が理解できている。 ・造血器の基礎知識と主要な造血器疾患が理解できている。 ・腎・泌尿器の基礎知識と主要な腎・泌尿器疾患が理解できている。 ・感染症・中毒の基礎知識と主要な感染症・中毒疾患が理解できている。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5103201	51L02-3021SR-00	神経内科学Ⅰ	必修	1）人体の神経系の構造と機能を説明できる。 2）神経筋疾患の主な症候について説明できる。 3）脳疾患の代表的症候について説明できる。 4）神経学的診察と検査法について説明できる。	◎	◎		○				
5103301	51L02-3022SR-00	神経内科学Ⅱ	必修	1）神経内科学およびリハビリテーション医療で最も重要な脳血管障害について説明できる。 2）認知症、脳腫瘍、脳外傷など脳疾患について説明できる。 3）重要な変性性疾患および脱髄性疾患について説明できる。 4）主な筋疾患につて説明できる。 5）神経系の主な感染性疾患について説明できる。 6）神経疾患としての中毒性疾患、栄養障害について説明できる。 7）主な小児の神経疾患について説明できる。 8）神経疾患にみられる合併症について説明できる。	◎	◎		○				
5104902	0	予防とコンディショニング（実習を含む）［理］	必修	・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防の目的や意義および理学療法士、JSPO-ATとして果たすべき役割について説明できる。 ・スポーツ外傷・障害の予防の概念や発生要因について理解し、科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害の予防を計画し実践できる。 ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防に関連する対象者の基本データを収集する目的や意義、医師を含めた医.科学スタッフとの連携、更には各種データの活用法について理解し、安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防を検討する際の根拠となる各種評価を組織的に計画し実践できる。 ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因を理解し、科学的根拠に基づいた予防対応を計画し実践できる。	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎
5105001	51L02-2023FR-00	神経解剖学	必修	目標 ①脳を構成しているニューロンとグリアの形態と機能について説明できる。 ②複雑な脳の構造や区画の形成を発生学の観点から説明できる。 ③脳のある領域の入・出力と機能を説明できる。 ④反射の神経回路の求心部と出力部を説明できる。 ⑤上行路（感覚路）と運動路（下行路）について説明できる。	◎	○	◎	○	○	◎	○	◎
5105102	51L02-3024SR-00	衛生学・公衆衛生学［理］	選択	① 衛生学・公衆衛生の概要を理解する。 ② 感染症対策等公衆衛生活動の実際を理解する。 ③ 保健医療行政の概要について理解する。 ④ 理学療法士がチーム医療の一員として働く意義を会得する。 ⑤ 社会医学の領域における多様な課題についての基本的な事項を理解する。 すなわち下記のように、健康の概念、予防医学の基礎・健康増進から始まり、さらに感染症対策を知り、ライフサイクルに応じた母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、精神保健地域保健、および国際保健、環境衛生の各応用領域の基礎を幅広く学ぶ。その上で、地域保健と保健医療福祉の制度及び医療法・医療安全の確保について学ぶ。公衆衛生における実践感覚を身に着けるため、行政サイドの観点からの講義も企画している。将来理学療法士として働く際、医療現場での柔軟な対応力を身につけることを目差す。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎
5200201	51P04-2025SR-00	運動学実習	必修	①筋の起始・停止を骨格標本上でも示すことができ、運動を三次元的に説明できる。 ②筋の支配神経、髄節、その他その筋についての必要知識を理解し説明できる。 ③人の姿勢と動作を筋電図のデータから力学的、生理学的、運動学的に説明できる。 ④機器を用いた等尺性筋力や等速性筋力評価について実施できるとともに、生理学的解釈ができる。 ⑤人の立位などの姿勢、歩行などの動作を観察および三次元動作解析装置による解析により力学的、生理学的、運動学的に説明できる。 ⑥肢節の質量により関節に生じるモーメント、筋の作用により生じるモーメントなど、重心や筋によるモーメントを推測、説明できる。	◎	○	◎	◎	◎			
5200301	51P04-3026FR-00	臨床運動学実習	必修	1） 動作分析において運動学的用語で表すことができる。 2）ビデオによる障害像を観察することにより健常からの逸脱動作を識別することが出来る、またその動作を模倣し筋活動や力学的な作用を用いて説明できる。また主原因による動作と代償動作を分けることができる。 3） 観察による歩行分析の推論的過程を行い、それを文章化して表すことが出来る。 4） グループワークによる課題の遂行と結果のプレゼンテーションを通して発表能力を身に付ける。	○	◎	○	○	◎			

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5200401	51L04-1027FR-00	理学療法学概論	必修	①医学および理学療法の歴史の概略、リハビリテーションとの関係性を理解する。 ②理学療法士の基本となる法律制度、関連法規、および社会的な位置づけを理解する。 ③理学療法士として必要な倫理と資質（適性）を理解する。 ④理学療法の方法を理解する。 ⑤理学療法士の対象を理解する。 ⑥リハビリテーションにおけるチーム医療を理解する。 ⑦理学療法を展開するうえで、必要な安全管理等をを理解する。 ⑧病院での理学療法士業務を見学し、理学療法士の役割や活動内容を理解する。	○	○	◎	○	○	◎	○	○
5200701	51L04-1029SR-00	日常生活活動学	必修	本授業を通して、学生は以下の事項ができるようになることを目標とする。 ① ADLの概念と範囲、および国際生活機能分類（ICF）の構成要素について説明することができる。 ② ADLとQOLの関係を説明し、代表的なQOL評価尺度を分類することができる。 ③ 理学療法におけるADL評価の位置づけ、目的、活用方法および代表的な評価法の概要を説明することができる。 ④ ADLを支援する自助具、日常生活用具、歩行補助具、車椅子について、名称・機能・適応を説明し、基本的なチェックアウトを実施することができる。	○	◎	○	○	○	◎	○	○
5200801	51P04-2030FR-00	日常生活活動学実習	必修	1. 代表的な疾患・障害ごとの特性を理解する前に、基礎医学的観点から障害を捉えるため、基本的な人間工学的知識を、実習を通して理解する。 以下の代表的な疾患・障害ごとの実習を含めた授業は、履修学生を4グループに分け、担当教員の授業をローテーションする。 2. 脳血管障害等による片麻痺について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 3. 脊髄損傷による四肢麻痺、対麻痺について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 4. 脳性麻痺による運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 5. 神経筋疾患・難病による運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 6. 股・膝関節人工関節置換術後のリスク、運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 7. 下肢切断による運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 8. 視覚障害(ロービジョン)の障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 9. 関節リウマチによる運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。 10. 呼吸・循環器疾患による運動障害について障害の理解、ADL評価、ADL指導、必要な環境整備について講義と実習を通して理解ができる。	◎	○	○	○	○	◎	○	○
5201001	51P04-2031SR-00	機能能力診断学実習	必修	①徒手筋力検査の意義と目的を理解し、正確に検査することができる。 ②整形外科的検査の意義と目的を理解し、正確に検査することができる。	○	◎	○	◎	○	○	○	○
5201101	51L04-3032FR-00	神経診断学	必修	①中枢および末梢神経、筋の解剖と機能を理解する。 ②主な神経・筋疾患の原因、症状、治療を理解する。 ③症状から疾患名、障害部位を理解する。 ④症状に関連する検査を理解する。	◎	○	○	◎				
5201301	51L04-1033SR-00	基礎運動療法学	必修	① 運動療法の歴史、定義、概要について理解することができる。 ② 運動療法に必要な基礎を理解し、説明できる。 ③ 運動療法の定義、目的、種類、対象について説明できる。 ④ 関節可動域訓練や筋力増強訓練など、理学療法において基本的な運動療法を理解し、説明できる。	○	◎						

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5201401	51P04-1034SR-00	基礎運動療法学実習	必修	①関節構造及び関節外運動（骨運動）と関節内運動（副運動）を理解したうえで、体幹、四肢に対する関節可動域運動を実施できる。 ②筋の走行を理解した上で、体幹および上下肢のストレッチングを実施できる。 ③筋の走行を理解した上で、体幹および上下肢の等尺性収縮による筋力増強を実施できる。 ④運動失調の障害像を理解したうえで、運動失調に対する運動療法を理解し、一部を実施できる。 ⑤様々な状態の対象者に対するトランスファーができる。 ⑥寝返りをはじめとした臥位から立位までの基本動作を理解し実施できる。 ⑦臨床で用いられる各種治療体操を理解する。	◎	◎	◎	◎	○	○		
5201501	51L04-3035SE-00	応用運動療法学	選択	1. 加速度・角速度が説明できる。 2. 角速度から移動角度が算出できる。 3. 動作を加速度・角速度から分析し、説明できる。 4. 動作時の加速度・角速度を小型センサで計測することができる。	○	◎	◎	○				
5201901	51P04-3036FR-00	義肢装具学実習	必修	①機能評価および治療に必要な知識と理解ができるようになる。 ②義肢装具の種類と特徴を理解、解釈、洞察し、口述することができ、処方・適合・チェックアウトの実演ができるようになる。 ③義肢装具の修正過程（静的、動的）を理解し、基本的な修正および実演ができるようになる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
5202301	51L04-2037FR-00	神経系障害理学療法学	必修	1）中枢神経とその機能解剖を理解することができる。 2）脳血管障害とその他神経疾患の病態・神経診断を理解することができる。 3）脳血管障害とその他神経疾患の機能評価や理学療法を理解し実践できる。 4）脳血管障害の合併症、高次脳機能障害、嚥下障害を理解することができる。 5）脳血管障害症例に対し、理学療法評価を立案することができる。	◎	○	◎	○				
5202401	51P04-2038SR-00	神経系障害理学療法学実習	必修	1）脳卒中片麻痺の病態像を理解する。 2）脳卒中片麻痺の特徴を理解し、障害像をイメージできるようになる。 3）Brunnstrom stageやSIASを理解し、実施できるようにする。 4）高次脳機能障害について理解する。 5）脳卒中片麻痺に対する基本的な理学療法手技を理解し、実施できる。 6）治療とADL改善との関わりを理解し、ADL面での介入方法を学修する。	◎	◎	○	◎	○			◎
5202501	51S04-3039FR-00	神経系障害理学療法学演習	必修	①中枢神経系の解剖と機能を説明できる。 ②脳血管障害の分類、その原因と症状を説明できる。 ③脳血管障害患者の標準的評価を説明できるとともに学生同士で実施できる。 ④脳血管障害患者の評価結果について、事例を通して説明できる。 ⑤脳血管障害患者の標準的介入を説明できるとともに学生同士で実施できる。 ⑥その他の神経・筋疾患について基本的な病態と症状を説明できる。 ⑦脳血管障害、神経・筋疾患について、国家試験の過去問題を解くことができる。	◎	◎	◎	◎				
5202601	51L04-3040FR-00	内部障害理学療法学	必修	1） 酸素運搬系障害の機序について、その解剖・生理・病態より理解することができる 2） 呼吸障害の理学療法評価、理学療法、理学療法の役割、リスク管理について理解することができる 3） 循環障害の理学療法評価、理学療法、理学療法の役割、リスク管理について理解することができる 4） 代謝障害の理学療法評価、理学療法、理学療法の役割、リスク管理について理解することができる	◎	◎	○	○	○	○	○	○
5203101	51S04-3041SE-00	老年期障害理学療法学演習	選択	①リハプロセスのなかでの老年期障害（維持期リハ）に対しての位置付けを説明できる。 ②加齢による機能低下と疾患に関する評価ができる。 ③体力の維持･向上のための具体的な対策を考案し、説明できる。 ④理学療法実施時のリスク管理の意義を理解し、適切なリスク管理の項目が説明できる。 ⑤高齢者の加齢的変化を考慮した理学療法プログラムが作成できる。	◎	◎	◎	◎				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5203202	51L04-2042FR-01	地域リハビリテーション概論	必修	①地域リハビリテーションの定義について理解することができる。 ②地域リハビリテーションに関わる職種、多職種連携の目的と方法について理解することができる。 ③医療保険、介護保険、障害者総合支援法、地域包括ケアシステムの仕組みを理解することができる。 ④代表的な疾患の病態を理解し、必要な環境整備、生活指導、リスクを理解することができる。	◎	○			○	◎	○	○
5203301	51L04-3043SR-00	地域リハビリテーション理学療法学	必修	①地域理学療法の目的や具体的内容について理解できる。 ②地域における理学療法士の役割と活動内容について理解できる。 ③地域におけるアセスメントから援助目標の設定までの枠組みについて理解できる。 ④介護予防の具体的内容について理解できる。	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
5203601	51S04-3044SR-00	理学療法治療学演習	必修	1）理学療法における治療理論の概略を説明できる 2）疾患や対象者の背景から必要な評価を立案できる 3）評価での問題点から適切な理学療法の組み立てを作成できる 4）理学療法の方法および実施の際のリスクを説明できる	○	○	○	◎	○	○	○	○
5203801	51S04-4045IR-00	理学療法特講Ⅱ	必修	①基礎・臨床医学分野（解剖学、生理学、運動学、人間発達学、病理学、精神医学、臨床心理学、内科学、整形外科学、神経内科学、小児科学、老年医学、リハビリテーション概論他）における重要ポイントを理解することができる。 ②理学療法分野（理学療法概論、理学療法評価学（実技を含む）、理学療法治療学（運動療法総論・各論、物理療法、義肢・装具療法）、日常生活活動学、リスク管理、地域リハビリテーション他）における重要ポイントを理解することができる。 ③合格基準を超えることができる。	◎	◎		○				
5203901	51L04-3046SR-00	理学療法管理経営学	必修	①医療における経営と管理について基本的理解を深める。 ②病院の全体的な医事管理・人事管理・物品管理を理解し、原価や人件費等のコストを理解する。 ③我が国の医療保険制度と診療報酬制度を理解し、理学療法部門としての経営管理を理解する。	◎		○	◎	◎	○	○	◎
5204101	51S04-1048SR-00	運動学Ⅰ	必修	1. 運動器の構造と関節の形態、機能を説明できる。 2. 随意運動について説明することができる。 3. それぞれの関節での動きを筋の起始停止での作用を通して説明できる。 4. 正常歩行での各相についておおまかに説明することができる。	◎	○	○					
5204201	51S04-2049FR-00	運動学Ⅱ	必修	1)日常生活での単純な動作において運動学的観点から分析することができる。 2)関節の回転軸における筋の走行において、その作用を理解することができる。 3)姿勢制御における理論を説明することができる 4)歩行における客観的要因と主観的要因について説明できる。 5)歩行における筋活動と床反力との関係性についておおまかに説明できる。	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○
5204301	51L04-3050SE-00	医療情報学	選択	①医療情報システムについて理解する。 ②情報処理を担うコンピュータやネットワーク、データベースに基礎を理解する。 ③電子カルテ等に関する基本的知識を習得する。 ④各医療関係法律による守秘義務と問題点について理解する。 ⑤個人情報保護法による個人情報の保護について理解する。		◎	◎	○		◎		○
5204401	51S04-2051FR-00	理学療法評価学Ⅰ	必修	理学療法士およびアスレティックトレーナー（AT）における評価の意義と目的を理解し、基礎となる検査・測定の基本手技を実施できるよう、実技を通して習得することを目標とする。 ① 評価の意義と目的、構成要素、進め方を理解する。 ② バイタルサインの意義と目的を理解し、正確に測定することができる。 ③ 形態測定の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。 ④ 関節可動域測定の意義と目的を理解し，正確に測定することができる。 ⑤ 感覚検査および痛みの評価の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。 ⑥ 反射検査の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。 ⑦ 筋緊張検査、協調性検査の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。	◎	◎	◎	◎	○			

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5204701	51P04-3052FR-00	物理療法学総論	必修	①物理療法の定義・原理方法を説明できる。 ②温熱・寒冷・光線・水治・電気・牽引療法の生理作用と臨床効果、基本的実施方法とリスクについて説明し、実施できる。 ③実習では学生主導型のグループ学習方式で行うので、各グループで協力体制を取り授業に臨める。	○	◎	○	◎	○	○	○	○
5204801	51L04-2053FR-00	整形外科系障害理学療法学	必修	① 代表的な整形外科疾患に対する基本病態について説明できる ② 代表的な整形外科疾患に対する整形外科的評価項目を説明できる ③ 代表的な整形外科疾患に対する基本的な理学療法介入を説明できる	◎	◎	○	○		○		○
5204901	51P04-2054SR-00	整形外科系障害理学療法学実習	必修	1) 医療職を目指すにあたり、感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を考えることができる。 2) 整形外科系疾患の病態、障害、理学療法について理解することができる。 3) 整形外科系疾患による障害に対する理学療法の評価および治療の基本的技術を身につけることができる。	◎	◎	○	○	○	○	○	○
5205001	51S04-3055SR-00	整形外科系障害理学療法学演習	必修	① 整形外科系疾患に関する病態、機能・能力障害の特性などが理解できる。 ② 整形外科系疾患に関する問題点を整理し、基本的な理学療法プログラムを立案できる。 ③ 触診技術・評価技術・治療技術を習得する。	○	○	○	◎				
5205201	51S04-3057YR-00	理学療法特講Ⅰ	必修	1. 検査測定項目が意義を理解した上で実施できる。 2. 検査測定項目の結果の解釈ができる。 3. 主要疾患に関しての必要な各種検査測定項目が列挙できる。 4. 当事者交流を通して、倫理感を養い、できることは何かを各自考えることができる。 5. レジュメ作成ができる。	◎	◎	○	○	○	◎	○	○
5205301	51S04-3058SE-00	スポーツ障害理学療法学演習	選択	1)スポーツ外傷・障害を抱えるアスリートに対して、理学療法士がどのように関わっていくか？その役割と評価，介入についてを学習する。 2)各部位ごとの代表的なスポーツ外傷・障害を紹介し、具体的にどのように評価をして治療を実施していくかを学習する。 3)テーピングやパートナーストレッチ、トレーニング方法などの紹介も適宜行い、様々アプローチ方法があることを学習する。	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎
5205401	51L04-3059FR-00	生活環境学	必修	1. 生活環境の概念を説明できる。 2. ICFの概念よりADL状況とそのアプローチを説明できる。 3. バリアフリーの概念について説明できる。 4. ユニバーサルデザインの概念について説明できる。 5. バリアフリー、ユニバーサルデザインに関係する法制度について知る。	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○
5205501	51S04-3060SE-00	医学論文（英文）	選択	1. 日本理学療法士協会、日本リハビリテーション学会等における歴史的な動向を知り、世界情勢を踏まえた視点で知識を身につける。 2. 医学論文のICT活用による情報検索を行うことができる。 3. ICTを活用し翻訳ができるようになる。 4. EBPTにおいてPICOの概念を理解し、関連する論文の比較検討ができる。 5. 各種学会ガイドラインを理解し、精査する知識と実践ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5208301	51L04-2061SR-00	義肢装具学	必修	① 義肢・装具の対象疾患と適応症状について説明できる。 ② 義肢装具の種類と特徴（理論・力学的特性など）について理解できる。 ③ 義肢装具療法の目的・効果が説明できる。 ④ 義肢装具療法における評価項目、妥当な評価ができる。 DP-1, DP-2	◎	◎	◎	◎				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5208601	51P04-3071IR-00	小児理学療法学総論（実習を含む）	必修	1. 正常人間発達（運動，上肢，摂食，反射・反応，認知など）が理解できる. 2. 代表的な発達検査について，目的と方法を説明し，実施できる. 3. 姿勢・原始反射について，出現と統合，中枢，運動発達との関係について理解し説明できる. 4. 脳性麻痺の病態像と理学療法について説明できる. 5. ダウン症，広汎性発達障害の病態像と理学療法について説明できる. 6. デュシャンヌ型筋ジストロフィーを代表とする遺伝性疾患の病態像と理学療法について説明できる. 7. 小児整形疾患（二分脊椎，ペルテス病など）の病態像と理学療法について説明できる. 8. 低出生体重児・ハイリスク児の病態像と理学療法について説明できる.	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5290501	51S04-3064FR-00	理学療法評価学Ⅱ	必修	① 臨床的で使用されている評価から問題点抽出までの流れを理解できる。 ② 画像評価について学習し、画像から問題点を考察できる。 ③ 症例情報から必要な評価項目を選択できる。 ④ 評価方法だけでなく評価結果に対する理解できる。 ⑤ 複数の評価結果を照らし合わせて問題点を考察できる。	○	○	○	◎	○			
5290601	51P04-3065SR-00	内部障害理学療法学実習	必修	1） 理論：呼吸・循環・代謝などの解剖・生理・病態生理・理学療法評価および治療について理解することができる。 2） 技術：バイタルサインやフィジカルアセスメント、心電図や肺機能検査、運動負荷試験やカロリー計算から運動療法プログラムの立案をし、コンディショニングや運動療法を経験することができる。 3） 標準予防策が実施でき、吸引方法を理解することができる。	◎	◎	○	◎	○	○	○	○
5290702	51P04-2066IR-01	見学実習	必修	1. 医療現場にふさわしい身だしなみや言葉遣いなどの接遇、および対象者、指導者や他の職員との適切なコミュニケーションについて指導者を見本として理解し、基本的態度が実施できることを目標とする。 ①適切な接遇（身だしなみ、挨拶、表情、態度、言葉遣い）、および適切なコミュニケーションができる。 2. 指導者が行う理学療法過程について、見学と指導者による説明・指導により理解する。また、基本的態度以外に関しては、状況が許すならば体験することによって身につけることを目標とする。 ②利用者の介入場面を見学し、必要な情報について理解できる。 ③理学療法の対象者が有する諸問題を導き出す過程について、指導者の助言により理解できる。 ④対象者がもつ日常生活能力や生活環境と機能障害を関連付けて理解できる。 ⑤個々の対象者が有する疾患の特徴を捉え、全体像を把握できる。 説明できる 1） 対象者（およびご家族）の生活特性について⇒⑤ 2） 各事業所で提供しているサービス内容の特徴について⇒②③④ 3） 理学療法士および他の医療従事者の業務内容と役割について⇒②③④ 4） 地域における他職種との連携について⇒②③④ 実施できる 1） 適切な接遇とコミュニケーションができる。⇒① 2） 関係する保険制度（医療保険、介護保険など）について調べ示す。⇒② 3） 可能であれば、ケアプランの作成から実施に至るまでの過程について見学する。⇒②	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5290801	51P04-3067IR-00	評価実習	必修	1.　接遇・態度の目標 ・　信頼関係の構築：対象者の不安を軽減するために、検査など実施する前にあいさつ、自己紹介、対象者確認、実施目的の説明を行い、必ず同意を得てから目的の行動を開始することができる。 ・　リスク管理：検査等で必要な移乗動作、立位などの姿勢保持を行う際には、常時バイタルなど対象者の様子に注意する。また、周囲の環境にも気を配り、必ず実習指導者の監督下で安全を優先して実施することができる。 ・　身だしなみと礼儀：医療従事者としてふさわしい身だしなみを心がけ、対象者、病院スタッフなどに対して適切な言葉遣いと報告・連絡・相談が確実にできる。 2.　検査・評価技術と手順の目標 ・　関節可動域検査や徒手筋力検査、形態計測など基本的な検査（水準Ⅰ）は、各検査に必要な知識と手技に則った方法でなるべく誤差を少なくかつ短時間に行うことができる。 ・　動作分析においては各動作を分節的（相）に特徴や問題を抽出することができる。また、機能障害と日常生活活動との関連性を説明することができる。 ・実施した理学療法検査・評価以外に必要な情報（カルテ、画像、他科）を統合し、総合的な解釈ができる。 3.　記録の目標 ・　デイリーノートの作成：その日に体験した実習内容について、項目、結果、疑問など整理し、自身の考察も記載することができる。 ・　SOAPなど多視点的な記載など他者が理解しやすい方法での記載も推奨する。 ・　疑問と質問の具体化：調べれば簡単に解決するような質問ではなく、自身の仮設を交えた質問ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5290901	51P04-4069IR-00	総合臨床実習	必修	見学実習および評価実習の学習目標に加えて、以下の項目について見学・模倣・実施を経験することを目標とする。 ①対象者に理学療法の方針と方法を説明し、同意を得ることができるよう理解を深める。 ②理学療法を正しく実施できるよう理解を深める。 ③理学療法の実施に伴うリスク管理ができるよう理解を深める。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5302901	51P08-3068SO-00	スポーツトレーニング特論	自由	各種体力トレーニングの理論を理解する。 各種体力トレーニングの実技ができるようになる。 各種体力トレーニングの実技が指導できるようになる。 各種体力トレーニングのプログラミングができるようになる。 各種体力測定を実施し、分析、フィードバックができるようになる。			◎	◎			○	○
2700101	52L06-3012SO-00	スポーツコーチング論	事由	①スポーツコーチングの基本理論を理解し、それを他者に説明することができる。 ②優れたコーチに必要な資質や役割を具体的に挙げ、それを実際の指導場面における事例と関連付けて説明することができる。 ③プレーヤーを育成・支援するための効果的なコミュニケーション技術を学び、それをプレゼンテーションやグループワークを通じて実践することができる。 ④多文化的価値観や異なる立場を尊重する態度を身に付け、チームやコミュニティでの協働の場面に応用することができる。 ⑤スポーツコーチングで培ったスキルや知識を、教育、ビジネス、地域社会などスポーツ以外の分野にも応用することができる。 ⑥予測困難な時代における課題を多角的に分析し、学んだ理論やスキルを活用して具体的な解決策を提案することができる。 ⑦プレゼンテーションを通じて、学びの成果を他者と共有し、説得力を持って自らの考えを発表することができる。 ⑧スポーツコーチングが持つ教育的・社会的価値を考察し、その意義を説明することができる。			○	◎	◎	○	○	○
2700201	52L06-1013SO-00	アスレティックトレーナーの役割	自由	1) 本邦におけるAT資格（JSPO-AT）および関連資格の役割、業務、制度を説明できる。 2) ATの法的・倫理的側面について説明できる。 3) 自身の健康管理の重要性とその予防・対処法について説明できる。 4) スポーツ医・科学チームの構成とATの役割について説明できる。 5) エビデンスに基づいた運営手法について説明できる。 6) クライアントの特性を理解し、連携体制に活用できる。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
2700401	52P06-1015IO-00	トレーナー実習Ⅰ（見学実習）	自由	1）見学実習を通して、アスレティックトレーナーがどのような役割を担い、どのような能力が必要かを説明できるようになる 2)トレーナーが現場で行う「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」について必要な能力を説明できるようになる 3)トレーナーが現場で行う「コンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる 4)トレーナーが現場で行う「リコンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる 5)トレーナーが現場で行う「救急対応」について必要な能力を説明できるようになる 6）各現場の環境に応じて臨機応変に活動するために必要な能力を説明できるようになる				○	◎	○		
5101001	50L02-3048FE-00	薬理学［理整］	理学必修／整復選択	1）薬物の作用機序、生体への効果、体内動態、有用性・有害性を説明できる。 2）各系統別疾患に用いられる薬物について説明できる。 3）薬物の主な副作用について説明できる。	◎	○		○				
5101101	50L02-2049FE-00	微生物学・免疫学〔理・整〕	必修	①　免疫のしくみについて基本的事項を説明できる ②　アレルギーについて説明できる ③　免疫の異常と自己免疫疾患について、基本的な事項を説明できる。 ④　感染とその経路、および感染症の予防について、基本的な事項を説明できる ⑤　微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の種類と性質について、基本的な事項を説明できる ⑥　感染症を増悪する免疫のしくみと敗血症について説明できる ⑦　感染症と病原体の伝播、感染予防策や、感染症法とその対象について基本的事項を説明できる ⑧　消毒や滅菌の必要性や方法について説明できる ⑨　ワクチン（予防接種）・血清療法についてメカニズムやリスクを説明できる ⑩　主要な病原性微生物の特徴や性質について、感染症と関連付けて説明できる	○		◎	○				
5101701	50L02-3050SR-00	外科学	整復：必修／理学：選択	国家試験頻出の問題から用語・疾患解説を行い、総合的な病態理解を目標とする。		◎						
5102101	50L02-2051SE-00	精神医学	理学療法学科：必修、整復医療・トレーナー	精神疾患を有する患者さんと接する際にも、誤解や偏見による医療者と患者間の相互不利益を生じることなく、治療関係を構築することができる。国家試験の精神科の問題に対応することができる。	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5102201	50L02-2052SE-00	小児科学	選択	①小児の発達や生理を理解する。 ②実習に役立つ小児のフィジカルアセスメントを理解する。 ③日常診療で見られる代表的な疾患や病態について理解する。 ④小児の取り巻く社会・環境を理解する。	◎		◎	◎				
5300401	50L02-3053FE-00	運動生理学	理学：自由、整復：選択	①運動により身体活動を向上させるため、運動時の生理機能を基礎から理解し、現場で分析および評価することができる。 ②アスリートの競技力向上・傷害予防、一般人および高齢者への健康増進や生活習慣病の予防・改善のための効果的な運動処方ができる。	◎		○					
5302701	52L02-3066SE-00	スポーツ社会学	選択	1. スポーツ社会学の基本的な概念と歴史的背景を説明できる。 2. スポーツと政治、経済、メディアの密接な関係を多角的に分析できる。 3. 現代スポーツにおける逸脱行為（ドーピング、暴力等）の社会的要因を考察できる。 4. ジェンダーや障がい者スポーツの現状を理解し、多様性を尊重する社会のあり方について論じることができる。 5. 医療従事者およびアスレティックトレーナーの社会的役割と職業倫理を社会学的視点から説明できる。	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5400701	52L04-2070FE-00	スポーツトレーニング概論	選択	本講義では、以下の11項目を個別学習目標とする ① 体力の分類およびトレーニングの原理・原則を、生体適応の観点から説明できる。 ② エネルギー供給機構の特性を理解し、運動時の代謝応答を説明できる。 ③ エネルギー供給機構の特性を理解し、運動時の代謝応答を説明できる。 ④ 有酸素運動に対する短期的生理応答を説明できる。 ⑤ 有酸素性持久力の測定指標（VO_2max、LT等）の意義と限界を説明できる。 ⑥ 持久的トレーニングによる循環・呼吸・代謝系の適応を説明できる。 ⑦ 持久的トレーニングにおける強度設定（FITT原則等）の理論的背景を説明できる。 ⑧ ストレングストレーニング・エクササイズに対する短期的生理応答を説明できる。 ⑨ 筋力・筋肥大・筋パワー・筋持久力の測定理論を説明できる。 ⑩ ストレングストレーニングによる神経系および筋の適応を説明できる。 ⑪ ストレングストレーニングにおけるプログラム変数の生理学的根拠を説明できる。		○	○					
0002601	50L01-1004SE-00	国際関係論	選択	国際関係（国際社会）の様々な分野の基本的枠組みが理解出来るよう、ごく身近な例や日常見聞する出来事などを取り上げ、そこから問題の本質と背景を明らかにするというアプローチを取り、学生が（1）グローバルな国際社会に生きていることを強く自覚し、（2）異文化への理解を深め、（3）自分の生き方や国際社会における日本のあり方に関心を深めるようにする。 より具体的には、外国（人）との交流に役立つ基礎知識を身につけること、また、テレビ、新聞などのメディアの国際関係の報道や解説が概ね理解出来る程度の知識を持つことを目標とする。			◎	◎	◎	○	◎	
0004003	50S01-1011SE-01	思索と哲学演習	選択	1.社会や身近で起こっている問題について「なぜ？どうしたらよい？」と考えることができる。 また、その考察を通して、 2.哲学の領域で問題になってきたトピックについて理解できる。 3.自分とは異なる考えを適切な姿勢で検討できるように、これまで「自明」「当然」だと思っていたことがそうとは限らないこと学び、いろいろな視点から考え、それを文章で適切に表現できる			○			◎	○	
0004302	50L01-1014FE-00	現代社会学	選択	最初に「社会学」とは何か。その基本的な知識と考え方を身に着けること。その後は、具体的なテーマについて解説し、それに基づいて自分の考えをまとめる作業を行います。数回に一度、20分程度の簡単なレポート作成を行い、最終的には、社会学的な考え方を身に着け、自分を取り巻く社会の将来像を自分なりに描いていくことを目標としています。					◎	◎	◎	
2700101	52L06-3012SO-00	スポーツコーチング論	事由	①スポーツコーチングの基本理論を理解し、それを他者に説明することができる。 ②優れたコーチに必要な資質や役割を具体的に挙げ、それを実際の指導場面における事例と関連付けて説明することができる。 ③プレーヤーを育成・支援するための効果的なコミュニケーション技術を学び、それをプレゼンテーションやグループワークを通じて実践することができる。 ④多文化的価値観や異なる立場を尊重する態度を身に付け、チームやコミュニティでの協働の場面に応用することができる。 ⑤スポーツコーチングで培ったスキルや知識を、教育、ビジネス、地域社会などスポーツ以外の分野にも応用することができる。 ⑥予測困難な時代における課題を多角的に分析し、学んだ理論やスキルを活用して具体的な解決策を提案することができる。 ⑦プレゼンテーションを通じて、学びの成果を他者と共有し、説得力を持って自らの考えを発表することができる。 ⑧スポーツコーチングが持つ教育的・社会的価値を考察し、その意義を説明することができる。			○	◎	◎	○	○	○
2700201	52L06-1013SO-00	アスレティックトレーナーの役割	自由	1) 本邦におけるAT資格（JSPO-AT）および関連資格の役割、業務、制度を説明できる。 2) ATの法的・倫理的側面について説明できる。 3) 自身の健康管理の重要性とその予防・対処法について説明できる。 4) スポーツ医・科学チームの構成とATの役割について説明できる。 5) エビデンスに基づいた運営手法について説明できる。 6) クライアントの特性を理解し、連携体制に活用できる。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
2700401	52P06-1015IO-00	トレーナー実習Ⅰ（見学実習）	自由	1）見学実習を通して、アスレティックトレーナーがどのような役割を担い、どのような能力が必要かを説明できるようになる 2)トレーナーが現場で行う「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」について必要な能力を説明できるようになる 3)トレーナーが現場で行う「コンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる 4)トレーナーが現場で行う「リコンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる 5)トレーナーが現場で行う「救急対応」について必要な能力を説明できるようになる 6)各現場の環境に応じて臨機応変に活動するために必要な能力を説明できるようになる				○	◎	○		
5101001	50L02-3048FE-00	薬理学［理整］	理学必修／整復選択	1）薬物の作用機序、生体への効果、体内動態、有用性・有害性を説明できる。 2）各系統別疾患に用いられる薬物について説明できる。 3）薬物の主な副作用について説明できる。	◎	○		○				
5101101	50L02-2049FE-00	微生物学・免疫学〔理・整〕	必修	① 免疫のしくみについて基本的事項を説明できる ② アレルギーについて説明できる ③ 免疫の異常と自己免疫疾患について、基本的な事項を説明できる。 ④ 感染とその経路、および感染症の予防について、基本的な事項を説明できる ⑤ 微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の種類と性質について、基本的な事項を説明できる ⑥ 感染症を増悪する免疫のしくみと敗血症について説明できる ⑦ 感染症と病原体の伝播、感染予防策や、感染症法とその対象について基本的事項を説明できる ⑧ 消毒や滅菌の必要性や方法について説明できる ⑨ ワクチン（予防接種）・血清療法についてメカニズムやリスクを説明できる ⑩ 主要な病原性微生物の特徴や性質について、感染症と関連付けて説明できる	○		◎	○				
5101701	50L02-3050SR-00	外科学	整復：必修／理学：選択	国家試験頻出の問題から用語・疾患解説を行い、総合的な病態理解を目標とする。		◎						
5102101	50L02-2051SE-00	精神医学	理学療法学科：必修、整復医療・トレーナー学科：選択	精神疾患を有する患者さんと接する際にも、誤解や偏見による医療者と患者間の相互不利益を生じることなく、治療関係を構築することができる。国家試験の精神科の問題に対応することができる。	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5102201	50L02-2052SE-00	小児科学	選択	①小児の発達や生理を理解する。 ②実習に役立つ小児のフィジカルアセスメントを理解する。 ③日常診療で見られる代表的な疾患や病態について理解する。 ④小児の取り巻く社会・環境を理解する。	◎		◎	◎				
5300401	50L02-3053FE-00	運動生理学	理学：自由、整復：選択	①運動により身体活動を向上させるため、運動時の生理機能を基礎から理解し、現場で分析および評価することができる。 ②アスリートの競技力向上・傷害予防、一般人および高齢者への健康増進や生活習慣病の予防・改善のための効果的な運動処方ができる。	◎		○					
5302701	52L02-3066SE-00	スポーツ社会学	選択	1. スポーツ社会学の基本的な概念と歴史的背景を説明できる。 2. スポーツと政治、経済、メディアの密接な関係を多角的に分析できる。 3. 現代スポーツにおける逸脱行為（ドーピング、暴力等）の社会的要因を考察できる。 4. ジェンダーや障がい者スポーツの現状を理解し、多様性を尊重する社会のあり方について論じることができる。 5. 医療従事者およびアスレティックトレーナーの社会的役割と職業倫理を社会学的視点から説明できる。	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5400701	52L04-2070FE-00	スポーツトレーニング概論	選択	本講義では、以下の11項目を個別学習目標とする ① 体力の分類およびトレーニングの原理・原則を、生体適応の観点から説明できる。 ② エネルギー供給機構の特性を理解し、運動時の代謝応答を説明できる。 ③ エネルギー供給機構の特性を理解し、運動時の代謝応答を説明できる。 ④ 有酸素運動に対する短期的生理応答を説明できる。 ⑤ 有酸素性持久力の測定指標（VO_2max、LT等）の意義と限界を説明できる。 ⑥ 持久的トレーニングによる循環・呼吸・代謝系の適応を説明できる。 ⑦ 持久的トレーニングにおける強度設定（FITT原則等）の理論的背景を説明できる。 ⑧ ストレングストレーニング・エクササイズに対する短期的生理応答を説明できる。 ⑨ 筋力・筋肥大・筋パワー・筋持久力の測定理論を説明できる。 ⑩ ストレングストレーニングによる神経系および筋の適応を説明できる。 ⑪ ストレングストレーニングにおけるプログラム変数の生理学的根拠を説明できる。		○	○					
0002601	50L01-1004SE-00	国際関係論	選択	国際関係（国際社会）の様々な分野の基本的枠組みが理解出来るよう、ごく身近な例や日常見聞する出来事などを取り上げ、そこから問題の本質と背景を明らかにするというアプローチを取り、学生が（1）グローバルな国際社会に生きていることを強く自覚し、（2）異文化への理解を深め、（3）自分の生き方や国際社会における日本のあり方に関心を深めるようにする。 より具体的には、外国（人）との交流に役立つ基礎知識を身につけること、また、テレビ、新聞などのメディアの国際関係の報道や解説が概ね理解出来る程度の知識を持つことを目標とする。			◎	◎	◎	○	◎	
0004003	50S01-1011SE-01	思索と哲学演習	選択	1.社会や身近で起こっている問題について「なぜ？どうしたらよい？」と考えることができる。 また、その考察を通して、 2.哲学の領域で問題になってきたトピックについて理解できる。 3.自分とは異なる考えを適切な姿勢で検討できるように、これまで「自明」「当然」だと思っていたことがそうとは限らないこと学び、いろいろな視点から考え、それを文章で適切に表現できる。			○			◎	○	
0004302	50L01-1014FE-00	現代社会学	選択	最初に「社会学」とは何か。その基本的な知識と考え方を身に着けること。その後は、具体的なテーマについて解説し、それに基づいて自分の考えをまとめる作業を行います。数回に一度、20分程度の簡単なレポート作成を行い、最終的には、社会学的な考え方を身に着け、自分を取り巻く社会の将来像を自分なりに描いていくことを目標としています。					◎	◎	◎	

2026年度

カリキュラムマップ　健康科学部　学科共通科目

健康科学部　ディプロマポリシー

【健康科学部　主体性・多様性尊重・協働性】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。

【健康科学部　主体性・多様性尊重・協働性】②他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。

【健康科学部　知識・技能、思考力・判断力・表現力等能力】③健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。

【健康科学部　主体性・多様性尊重・協働性】④医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。

【健康科学部　主体性・多様性尊重・協働性】⑤質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。

【健康科学部　思考力・判断力・表現力等能力】⑥地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学修目標	①	②	③	④	⑤	⑥
0000801	50L01-1001FR-00	心理学〔整〕	必修	・心理学が日常社会の様々な領域に関わる学問であることを知り、人間理解を深める。 ・人間の内面と他者や社会との関係のような外面の両者に着目し、個人と環境との相互関係について関係づける。 ・人間関係を心理学的視点から解釈し、自身の対人関係パターンを客観的に評価する。 ・代表的な心理学理論について、研究者と関連づけて説明する。 ・心理学に関する学術用語についてその定義や概略を説明する。 ・自分の専攻と心理学とを関連づけ、ケアや健康指導に応用する。	◎		◎			
0000803	50L01-1001FR-02	心理学〔理〕	必修	・心理学が日常社会の様々な領域に関わる学問であることを知り、人間理解を深める。 ・人間の内面と他者や社会との関係のような外面の両者に着目し、個人と環境との相互関係について関係づける。 ・人間関係を心理学的視点から解釈し、自身の対人関係パターンを客観的に評価する。 ・代表的な心理学理論について、研究者と関連づけて説明する。 ・心理学に関する学術用語についてその定義や概略を説明する。 ・自分の専攻と心理学とを関連づけ、ケアや健康指導に応用する。	◎		◎			
0002201	50L01-1003SE-00	現代物理学	選択	1）物体の運動状態を記述するための基本的な物理量（速さ、速度、加速度）の意味が理解できる。 2）等加速度運動の意味が理解できる。 3）慣性の物理的な意味が理解できる。 4）力、質量、加速度の関係が理解できる。 5）作用と反作用の関係が理解できる。 6）力の合成・分解の考え方が理解できる。 7）力のモーメントを、力が物体を回転させる能力を表す量として捉えられる。 8）重心の物理的な意味と性質が理解できる 9）仕事とエネルギーの関係、重力ポテンシャルエネルギー、運動エネルギーの意味が理解できる。						
0002701	50P01-1005FR-00	スポーツ理論と実習Ⅰ〔理〕	必修	1） 各種スポーツ（サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、フライングディスク）の基礎的技術を獲得する 2） 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる 3） チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる 4） 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる	○	◎				

0002801	50P01-1006SR-00	スポーツ理論と実習Ⅱ〔理〕	選択	1） 各種スポーツ（サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、フライングディスク）の基礎的技術を獲得する 2） 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる 3） チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる 4） 自身の体力レベルを全国平均と比較して、自身の体力の課題を知る。 5）運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる	○	◎				
0003101	50L01-1007SE-00	日本国憲法	選択	日本国憲法を理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と理解を求めていく。 就職先や家庭や地域における集団活動の中で活かせる知識や理論を培っていく。	◎	○				○
0003301	50L01-1008FE-00	文化人類学〔理〕	選択	「人類学」・「社会学」に限らず全ての人文科学・社会科学領域の subjectおよびobjectは人間です。文化人類学は、文化の研究が目的なのではなくて、それはあくまで手段であり、目的は人間の理解であり、どのように生き生きとした人間像を描くことができるかという認識を志向してきました。そして大事なことは、あなたがた若い学生が、未来によりよい社会・文化を担い、創っていく主体となるという自覚をもつことです。 ①他者や異文化に触れることで、自己を捉え返し、世界を問い直すという思考力の醸成、感性の涵養ができるようになります。 ②グローバル・ボーダレス・ダイバーシティ等「文化多様性」尊重の認識に立脚した国際的な視野を培うことができます。	◎	◎				
0003701	50L01-1009SE-00	日本倫理思想〔理・整〕	選択	①医療・介護の現場における患者・利用者の心情を、倫理から考えることができる。 ②日本の伝統的な倫理観の特徴を、歴史事象から説明できる。 ③「生者必滅」という理と、「無念」という概念を、患者の立場から説明できる。	◎	◎				◎
0003901	50L01-1010FR-00	武道文化論	理学・整復：必修 看護：選択	①武道の持つ真の意味を説明することができ、そこに込められた相手を尊重する精神性を理解することができる。 ②武術から武道への変遷を、その時代背景や思想と関連付けて説明することができる。 ③宮本武蔵の「五輪書」や新渡戸稲造の「武士道」を通じて、武道の精神の根源である武士の心得や哲学を理解し、それを相手の立場に立った思いやりや相互扶助の観点から説明することができる。 ④嘉納治五郎の思想を学び、武術の近代化と普及におけるその役割を説明し、武道が多様な文化や価値観とどのように調和してきたかを理解することができる。 ⑤武道の国際的普及の過程を把握し、その要因を他文化理解や多様性の尊重の観点から説明することができる。 ⑥日本の伝統文化や日本人の在り方について考察し、それをグローバル化、情報化社会における多様性の受容という文脈で説明することができる。 ⑦現代日本における武道の必要性とその本質を、自身や他者との相互理解を深める資源として説明することができる。	◎	◎				
0004101	50L01-1012SE-00	国語表現法	看：必修 ／理・整：選択	◆大学のレポートや論文などで求められる、論理的・客観的な文章を書くためのスキルを身につける。 ◆客観性、論理性、整合性の判断がすばやくできるように判定の技術を身につける。 ◆例の発想、論題の提示などを通して、合理的に考える能力を体験的に習得する。	○	○				
0004201	50L01-1013SE-00	世界の歴史と文化	選択	1. それぞれの時代の多様な文化を概観しながら「当たり前」のことを見直すことで、歴史への興味・関心を高める。 2. 世界の歴史の大きな流れを理解することができる。 3. テーマに沿って歴史上に登場する「モノ」に注目したり、古今東西の文化を調べたりして、異文化への理解を深め、国際社会で活躍できる価値観や多様性を身に付ける。 4. 科学・医学関連の「モノ」の歴史的な考察を通して、人間社会における医学・医療の成立と発展に対する思考を育てる。	○	◎				
0004401	50L01-1015FE-00	現代経済学	選択	新聞やニュースで報道される様々な経済用語について理解するとともに、それぞれの経済活動がそのメカニズムを通じて私たちの生活にどのような影響を与えるのか考えるなど、経済についての論理的思考能力を身に着けることを目標とします。	○	○				

0004501	50L01-1016SE-00	統計学〔理・整〕	選択	1）平均値、中央値、標準偏差などの基本的な統計量の意味が理解できる。 2）確率変数と確率分布の意味が理解できる。 3）区間推定の考え方を理解し、平均・分散の区間推定を行うことができる。 4）仮説検定のロジックを理解し、平均・分散の検定を行うことができる。 5）2変数の相関および相関係数の意味が理解できる。 6）回帰直線の意味が理解できる。				○		
0004601	50S01-1017FR-00	情報処理演習Ⅰ（ICTを含む）〔理Ａ〕	必修	1）オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2）ワープロソフト（Microsoft Word）を使用して文書を作成し編集できる。 3）電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4）表計算ソフト（Microsoft Excel）を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5）プレゼンテーションスライド作成ソフト（Microsoft PowerPoint）が使用できる。 6）基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7）様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				○		
0004602	50S01-1017FR-01	情報処理演習Ⅰ（ICTを含む）〔理Ｂ〕	必修	1）オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2）ワープロソフト（Microsoft365 Word）を使用して文書を作成し編集できる。 3）電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4）表計算ソフト（Microsoft365 Excel）を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5）プレゼンテーションスライド作成ソフト（Microsoft365 PowerPoint）が使用できる。 6）基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7）様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				○		
0004701	50S01-1018SE-00	情報処理演習Ⅱ〔月4〕	選択	1）Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2）Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3）HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				○		
0004703	50S01-1018SE-01	情報処理演習Ⅱ〔月5〕	選択	1）Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2）Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3）HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				○		
0004704	50S01-1018SE-02	情報処理演習Ⅱ〔金5〕	選択	1）Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2）Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3）HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				○		
0004705	50S01-1018SE-03	情報処理演習Ⅱ〔火5〕	選択	1）Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2）Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3）HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				○		

0004706	50S01-1018SE-04	情報処理演習Ⅱ〔火4〕	選択	1）Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2）Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3）HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				○		
0004802	50L01-1019FR-00	総合英語Ⅰ[火1]	必修	・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること ・リスニング力を向上させること ・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること ・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	○	◎			◎	
0004803	50L01-1019FR-01	総合英語Ⅰ[火1]	必修	・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。 ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。 ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				
0004804	50L01-1019FR-02	総合英語Ⅰ[火2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません		◎		○		
0004805	50L01-1019FR-03	総合英語Ⅰ[火2]	必修	・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。 ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。 ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				
0004806	50L01-1019FR-04	総合英語Ⅰ[火2]	必修	・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること ・リスニング力を向上させること ・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること ・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	○	◎			◎	
0004912	50L01-1020SR-10	総合英語Ⅱ[火1]	必修	・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること ・リスニング力を向上させること ・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること ・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること ・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	◎	◎			◎	
0004913	50L01-1020SR-11	総合英語Ⅱ[火1]	必修	・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。 ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。 ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				

0004914	50L01-1020SR-12	総合英語Ⅱ[火2]	必修	・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。 ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。 ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				
0004915	50L01-1020SR-13	総合英語Ⅱ[火2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません		◎		○		
0004916	50L01-1020SR-14	総合英語Ⅱ[火2]	必修	・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること ・リスニング力を向上させること ・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること ・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること ・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	◎	◎			◎	
0005201	50S01-1021FE-00	芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造）〔理〕	選択	1. 水彩画の特性を理解し、基本的な描写ができる。 2. デッサンを学び、基本的な描写ができる。 3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。 4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。 5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。	◎	◎				
0005401	50P01-1023FE-00	体育実技（体つくり運動）	選択	①「体つくり運動」の意義と構成要素を理解し、その教育的価値を説明することができる。 ②様々な「体つくり運動」を体験し、その効果や安全な実施方法を具体的に説明することができる。 ③体力や技能の異なる対象者に対して、適切な運動の工夫や配慮を考えることができる。 ④運動の楽しさや意義を他者と共有し、グループ活動を通じて効果的なコミュニケーションを実践することができる。 ⑤授業で得た知識や技能を活用し、将来の保健体育科教員としての基礎的な指導力を養うことができる。 ⑥授業で学んだ運動や知識を通じて、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実践し、心身の健康保持増進につなげることができる。	◎	◎			○	
0005501	50P01-1024IE-00	体育実技（陸上競技）	選択	１００ｍ、４００ｍリレー、ハードル走、１５００ｍ（１０００ｍ）等の自己記録の更新を目指し、どうや	◎	◎			○	
0005601	50P01-1025IE-00	体育実技（器械運動）	選択	器械運動、縄跳びの技術習得、指導法について学ぶ。縄跳びについては、大縄やダブルダッチを経験するこ	◎	◎			○	
0005701	50P01-1026IE-00	体育実技（サッカー）	選択	①サッカーの個人技術の向上 ②チームを通してのチーム戦術を理解し、組織的攻防が出来るようになる ③サッカーを通して生涯スポーツの重要さを学ぶ	◎	◎			○	◎
0005801	50P01-1027SE-00	体育実技（柔道）	選択	①「柔道」の授業の目的や内容を説明することができる。 ②「柔道」の基本的な技術や作法を実践し、その理論と精神性を理解することができる。 ③「柔道指導法」を具体的な実践を通して学び、指導の理論と方法を説明することができる。 ④模擬授業を通じて、安全に配慮した柔道授業の計画を立案し、実践することができる。 ⑤授業で学んだ柔道に関する知識や方法を実生活に応用し、健康的な生活を維持するための行動を取ることができる。	◎	◎			○	
0005901	50P01-1028IE-00	体育実技（ダンス）	選択	① ダンスに関する知識，理解 ・学習指導要領における「ダンス」の位置付け，特性，ねらいが理解できる。 ・「誰でもダンスが踊れる」という方法論が理解できる。 ② ダンスの実践力 ・ダンスの実践を通して，からだとこころのつながりを理解できる。 ・ひとまとまりの動きを堂々と他者に対して発表し，からだを使った表現ができる。 ・学んだ課題をからだを通して理解し，作品化することができる。 ③ ダンスの指導力 ・対象やねらいに応じたダンスの指導プログラム作成が理解できる。 ・対象やねらいに応じたダンスの指導が理解できる。	◎	◎			○	

0006001	50P01-1029IE-00	体育実技（水泳）	選択	・100m個人メドレー（スタート・ターンを含む）を、正しい泳法で完泳できる。 ・水中で自分の身体を巧みに操ることができる（立ち泳ぎを含む）。 ・安全管理・救助法について正しく理解し実践できる。	◎	◎			○	
0006101	50S01-1030FR-00	人間関係実践演習Ⅰ（初年次教育）［理］	必修	1．目的意識を持って大学生活に臨む基本意識を形成する 2．以下の基本的な対人関係スキルを身につける ① 自ら必要な時間を確保し学習するためのスキル（自律性・学習習慣） ② 人の話を傾聴し、理解するスキル（傾聴力・理解力） ③ 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル（話力・発表力） ④ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル（調査力） ⑤ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル（報告力） ⑥ 社会において互いに敬意を持ち、支え合い協力・協調しながら働くためのルールを理解し、適応するためのスキル（社会性・協調性） ⑦ 大学の学習と情報共有・コミュニケーションのためのステムとルールを理解し、利用できるスキル（情報リテラシー）	◎	◎	○	◎	◎	○
0006204	50S01-1031FR-00	人間関係実践演習Ⅱ（医療教養）［理］	必修	1）医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。 2）生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ち、健康の大切さを 理解できる。 3）生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。 4） 他者のために働くことの意味を理解でき、また医療人としての活動範囲の広がりが理解できる。 5）医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。 6）対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。 7）医療に不可欠な対話の大切さおよび面接技法について理解できる。	◎	◎	○	◎	◎	○
0006304	50S01-3032FR-00	人間関係実践演習Ⅲ［理］（多職種連携活動論）	必修	① 保健・医療・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。 ② 各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。 ③ チームの一員として目的（課題）達成のために協調することができる。 ④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。 ⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べることができる。 ⑥ 他職種と意見交換を行い、解決策を提案できる。 ⑦ 地域医療（支援）について関心を深めることができる。 ⑧ すべての他者に対して倫理的な態度で接することができる。	○	○	○	○	◎	○
0006305	50S01-3032FR-01	人間関係実践演習Ⅲ［整］（多職種連携活動論）	必修	① 保健・医療・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。 ② 各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。 ③ チームの一員として目的（課題）達成のために協調することができる。 ④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。 ⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べることができる。 ⑥ 他職種と意見交換を行い、解決策を提案できる。 ⑦ 地域医療（支援）について関心を深めることができる。 ⑧ すべての他者に対して倫理的な態度で接することができる。	○	○	○	○	◎	○
0006306	50S01-3032FR-02	人間関係実践演習Ⅲ［看］（多職種連携活動論）	必修	① 保健・医療・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。 ② 各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。 ③ チームの一員として目的（課題）達成のために協調することができる。 ④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。 ⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べることができる。 ⑥ 他職種と意見交換を行い、解決策を提案できる。 ⑦ 地域医療（支援）について関心を深めることができる。 ⑧ すべての他者に対して倫理的な態度で接することができる。	◎	◎	○	○	○	◎

0006401	50L01-1033SE-00	国文学	選択	◆ 国文学の歴史を展開を出発点とし、現代社会の課題を洞察しする能力を身につける。 ◆ 自身の視点、興味を客観的かつ社会的な視点、問題意識へと繋げる思考法を身につける。 ◆ 対象を具体的に調査する手順と分析する方法を学び、言語化する技術を身につける。	◎	◎				
0006602	50L01-2034SE-01	実践医療英語	選択	・医療現場で使用される語彙や表現を理解し、医療現場に立った時にスムーズに使えるようにする ・医療現場で行われる会話を聴きとって大体の内容を理解できるようにする ・実際に医療現場で英語を使う場面を想定し、ロールプレイを行い動画を作成して発表できるようにする また、Unit終了ごとに小テストを行い、自分で理解度をはかり復習ができるようにする。	◎	◎			◎	
0006701	50L01-1035FE-00	英会話（木１）［前期］	Choice	1. To help students acquire language that will help them sound natural. 2. To help students improve their speaking skills with fun and meaningful exercises. 2. To encourage students to communicate confidently.	◎	◎	◎	◎	◎	◎
0006702	50L01-1035SE-01	英会話（木１）［後期］	選択	1. To help students acquire language that will help them sound natural. 2. To help students improve their speaking skills with fun and meaningful exercises. 2. To encourage students to communicate confidently.	◎	◎	◎	◎	◎	◎
0006801	50L01-1036FE-00	ベーシック・イングリッシュ（月・５）	選択	・これまで学んだ英語の文法事項を確実に理解することができる ・簡単な会話文の聞き取りを行い、内容を理解することができる ・短い英文を読み、その内容を理解することができる	○	◎			◎	
0006802	50L01-1036FE-01	ベーシック・イングリッシュ（金・４）	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかり覚えられているかを確認する。間違え		◎			○	
0006803	50L01-1036SE-02	ベーシック・イングリッシュ（木・５）	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかり覚えられているかを確認する。間違え		◎			○	
0006804	50L01-1036FE-03	ベーシック・イングリッシュ（木・１）	選択	・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ・基本的な語彙、よく使う表現パターンを習得する。 ・短い英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				
0006805	50L01-1036SE-04	ベーシック・イングリッシュ（木・１）	選択	・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。 ・基本的な語彙、よく使う表現パターンを習得する。 ・短い英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。 ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		◎				
0006806	50L01-1036SE-05	ベーシック・イングリッシュ（月・３）	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかり覚えられているかを確認する。間違え		◎			○	
0006901	50P01-1037FE-00	体育実技（ワークアウト）［理（前期）］	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など） 運動と音楽の相乗効果を実践を通して理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。	○	○	○			○

0006903	50P01-1037SE-02	体育実技（ワークアウト）［理（後期）］	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など） 運動と音楽の相乗効果を実践を通して理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。	○	○	○			○
5100902	50L02-2047FE-00	臨床心理学	〔理〕必修 〔整・看〕選択	・医療における「心と身体のつながり」について理解を深める ・チーム医療における他職種連携について具体的に述べる ・保健医療分野における心理臨床の実際について説明する ・地域支援の対象とその目的、理念について説明する ・保健医療分野、特に精神科、小児科、心療内科における心理臨床とその意義ついて説明する ・力動的視点に基づく家族関係理解について応用する ・トラウマ体験の理解と支援のための基本的視点を獲得する	◎	◎	○		◎	
5200601	51L04-3028SE-00	理学療法学研究法特論	選択	①研究デザインとして、シングルケース、群間比較研究を理解する。 ②研究に必要な統計を理解、実施する。 ③先行研究を読んでまとめる。 ④卒業課題研究を行うと仮定して、実際に実行が可能である研究を立案する。			◎	◎		
5204001	51S04-4047YE-00	卒業課題研究	選択	①自ら研究テーマを発見し、仮説を立てることができる。 ②仮説を証明するための調査対象と方法を立案できる。 ③関連する先行研究を検索することができる。 ④対象に対するリスクに配慮し、測定を行うことができる。 ⑤測定結果の集計と解析ができる。 ⑥結果について、先行研究とも比較しながら理論的な考察ができる。 ⑦一連の過程について文章化して論文を作成できる。 ⑧論文を要約して資料を作成し、プレゼンテーションができる。				◎		
5208401	51S04-2062FE-00	理学療法カウンセリング	選択	1. 理学療法を実施するうえで、プログラムを最適なプログラムを考案すれば最高の効果を得ることができるわけではなく、理学療法の特性上、「いかに運動を（続けて）やってもらうか」、「いかに動作を覚えてできるように教えるか」という別の視点が必要であることを理解する。 2. 「やってもらう」、「できるように教えるか」について現状を分析し、介入を計画していくひとつの手法としての、応用行動分析学の基礎的な原理を理解するとともに、演習によって理解を深める。 3. 応用行動分析学に基づいて、さまざまな状況の事例に対する分析と介入を理解するとともに、演習によって実践的理解を深める。 4. リハビリテーション、理学療法を実践する以前に、基本的な接遇について、演習によって理解する。 5. リハビリテーション、理学療法場面を想定した接遇について、演習によって理解する。	◎	◎				◎
7303015	50P01-1057IE-00	体育実技（バレーボール・バスケットボール）	選択	① バレーボール、バスケットボールの個人技術の向上 ② チームを通してのチーム戦術を理解し、組織的攻防が出来るようになる ③ 教職に就いた際に、授業組み立てがしっかりと出来るようになる ④ 生徒を安全にいかに楽しく授業できるかを考えて授業展開を図れるようになる	◎	◎			○	